放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年　2月14日　　事業所名 児童デイサービス・アニマート江戸屋2号店

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		・設置基準は満たしている。室内以外にも中庭を使って活動する事もある。送迎で指導員が少なくなった際、これ以上、広いスペースだと目が行き届かなくなる。	事業所内には指導員の目が全体に行き届く様にする為、現在のスペース（室内）が妥当です。中庭（屋外）での活動も増やす様、検討して参ります。
	2	職員の配置数は適切である	1	3	1	・人員配置は、児発管１名、資格者２名の最低基準に加え、加配１名を配置している。送迎専門スタッフ１名もいるが、更に手はあれば楽。30年度法改正により1店舗で35万円程の減収、常勤資格者１名の追加配置義務により、これ以上の人件費は確保できないのが現実である。	利用者増加に伴い、指導員を募集しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			・事業所建築時にバリアフリーの設計となっており、段差は無く、車椅子でトイレも入れる様に建築している。壁には棚等があり、手すりの必要性は無い。	バリアフリーを考慮した建築をしております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		・計画、実行、評価、改善は、利用者個々の課題を出し、職員での意見の出し合いをしながら様々な方法で改善を目指している。	PDCAサイクルの理解、実行の為、定期的な研修を継続していく所存でございます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		・平成31年1月に実施。保護者の評価により、改めて改善に向け検討する事が課題。	結果を分析し、改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			・平成31年3月末までにホームページでに公表。	結果集計後、ホームページ「会社概要と自己評価」で公表し年に一回更新して参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2			常に不備が無い様、グループ会社への報告、連絡、相談を行う事を継続して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			・各機関での研修に参加し、参加した者は報告書を提出し、回覧、ミーティングで共有している。	外部研修だけでなく、職員間での情報共有、各症例についてミーティングを行う事を継続して参ります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		・保護者から話を聞く事に徹している。必要に応じて学校の担任との面談も行い、個別支援計画を作成し、見直しを行っている。	保護者の希望を練り込みながら、利用者にとって適切な支援計画を立てております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		・アニマートグループのテンプレートを使用している。また独自で質問内容を考えている。	専用テンプレートを利用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2		・ミーティングで立案した内容を全員で確認、検討している。	利用者の状態把握の為のプログラム、療育の強化の為のプログラムと日々、全体で検討を継続して参ります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		毎年、利用者が楽しみにしている恒例の行事もあるが、その都度、必要と思われる課題をプログラムしている。	利用者の状態把握の為のプログラム、療育の強化の為のプログラムと日々、全体で検討を継続して参ります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			平日（放課後）は学習で一杯だが、休校日には、集団活動を入れている。 ・外出時は、行事予定表を作成し、持ち物、人員配置など決めている。	放課後、休校日によって活動プログラムを決め、状況によって日々、検討を続けて参ります。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5			コミュニケーションが課題の利用者は多く、個別、集団での活動をそれぞれ組み込んでいる。	内容が児発管に向けた質問になっておりますが、児発管が作成したサービス計画書は全体が確認しておりますので、今後も継続して参ります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・毎日、利用者の送迎前にミーティングを行い、送迎や支援の内容を確認している。	保護者からの事前連絡、送迎等、支援内容、利用者の確認事項など毎日、確認をしており、継続して参ります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1		・終了後は翌日にミーティングを行い、問題点、気になった点、良かった点などを報告、確認し共有している。	保護者からの連絡事項、利用者の状態、学校からの申し送り等、振り返りを行い、全体で共有しております。特に問題と思われる内容は、社内LINEにより二重の確認を全職員で行っておりますので、今後も継続して参ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・利用者の連絡帳に記録漏れが無いか、数人の職員でチェックを行っている。 ・支援内容だけでなく、大切な物をお預かり、返却した際は、記録している。 ・長期休みの利用者は保護者に電話で状況確認し、内容を支援記録に記録している。	活動の内容、気になった点、保護者、利用者からの小さな情報など、記録を行っておりますので、今後も継続して参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		・達成できた項目、新たな課題など見直しを行っている。	今後も継続して対応して参ります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	1		・総則にある、個々の子供の状況に応じた支援を行い、集団での活動に加われる様な環境づくりをしている。また保護者支援について	今後も継続して対応して参ります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・規定通り、児発管が出席しているが、児童指導員からの情報を確認する場合もある。	今後も継続して対応して参ります。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5			・学校からの情報もあるが、保護者からも予定の連絡を頂いている。 急な下校時間変更などは学校から連絡を頂いている。	今後も継続して対応して参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	1	・今まで医療的ケアが必要な利用者が利用した事がないが、必要があれば体制は整えている。	現在、対象の利用者がおりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	2	・子供の成長は早いので、ほとんどの場合、過去の情報より、これからの目標に目を向けている。	過去の情報はあまり必要性を感じませんが、必要であれば、聞き取りを行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3		・要請が無いのでしていないが、情報提供の要請があれば、保護者確認の上、対応。	開設から2年の為、まだ卒業生が出ておりません。今後は検討して参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	1	・どこまでが専門機関と言えるかわからないが、強度行動障害支援者研修など各種研修は受講している。	今後も継続して対応して参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	4	・「友達に通っている事を知られたくない」という利用者は多く、交流の必要性を感じない。	発達障害の利用者が多く、他の児童に知られたくないという本人の意思も多数あり、今後の課題となっております。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		3	2	・参加したいと考えているが業務に追われできていない。	検討して参ります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・毎日の連絡帳に記載するだけでなく、気になる点は、保護者と直接連絡を取りあっている。	連絡帳、メール、LINE等で活動の様子などをお伝えしております、今後も適切な対応を継続して参ります。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	3	1	1	・家庭内で、どの様に対応したらよいのか、個々に連絡を取り合い提案させて頂いている。	電話、保護者会、連絡帳、メール、LINE等で対応の仕方を提案させて頂いておりますので、今後も継続して支援して参ります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・契約時に説明を行っている。	今後も継続して対応して参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			・利用者の日々の様子から、直接、保護者の話を聞いた方が良いと感じた時には、個々にお声を掛け、面談や担当者会議にお誘いし、支援について提案させて頂いている。	電話、連絡帳、メール、LINE等で個別対応。保護者会での相談など支援させて頂いておりますので、今後も継続して支援して参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			・毎年、新年度が始まり個人面談が終わった頃に開催しているが、仕事をしている保護者もおり全員参加とはなっていない。	毎年4月～6月頃、新年度が始まり一番、利用者が一番、不安定な時期に開催して、情報共有を行っております。今後も継続して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・整えてあるが、今まで苦情は無い。	今まで苦情はありませんが、適切な対応を心がけております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			・時々、活動写真を載せた瓦版を発行。 ・行事予定などは早めにお知らせを出している。 ・活動写真の動画をイベントの際に見て頂いた。	「瓦版」（活動内容）、ブログ、ホームページ、各お知らせを発行し予定、活動概要などお伝えしております。今後も継続して参ります。
	35	個人情報に十分注意している	5			・事業所内には顔写真やフルネーム掲示をしないなど、配慮している。 ・個人情報の管理は徹底して行っている。 ・部外者の写真撮影は、お断りしている。 ・退職した職員が個人で撮影した写真は、破棄させている。	個人が特定される書類、顔写真など一切、外部の目に触れない様、細心の注意を払っております。室内にも外部来客者の目に触れる事を意識し、掲示物にも配慮をしております。今後も継続して参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・連絡帳で足りないと感じた時は、メール、LINE、電話で連絡している。	今後も継続して対応して参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		4	・「友達に通っている事を知られたくない」という利用者は多く、個人情報保護の為、部外者の入室はお断りしている。	発達障害の利用者が多く、他の児童に知られたくないという本人の意思も多数あり、今後の課題となっております。
非常時等の対	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		・事業所内では周知しているが、すべてを保護者が周知しているとは限らない。	防犯、感染症マニュアルは全体での取り決めを行っており、定期的な訓練も行っております。今後も継続して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			・年に２回、定期的に行っている。 ・行った際は連絡帳の集団活動に記載。 ・ホームページ、ブログで活動の様子を公開している。	年に2回、必ず行っております。今後も継続して参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		・南城市生きがい推進課、虐待担当者に相談、報告を行い、助言を受けて適切な対応をしている。	虐待に関して、役所での相談、報告、連絡を行っております。今後も継続して連携を取って参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			・利用者本人に命の危険がある場合、他害のある利用者には身体拘束、行動制限を行う。 ・行う理由、内容を説明し、同意書を頂いている。 ・事業所保管の支援記録に日時、内容、方法等を記録している。	虐待に関して、役所での相談、報告、連絡を行った上で保護者の同意を得るものと定めております。専用書類の作成も行っており、今後に備え、研修を行って参ります。

応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		・まだ食物アレルギーの利用者はいないが、指示書の提出があれば合わせた対応をする。	これまで医師の指示まで御座いませんが、アレルギーの有無に関しては保護者から聞き取りを行っております。キッチンには利用者のアレルギー食物を個別に書き出しており、初めて食する食物には、事前に確認を行っております。今後も適切な対応を継続して参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		事故報告書として、未然の内容も報告書を提出している。内容はミーティングで共有している。	ヒヤリハットについての報告書を義務づけております。ミーティングで情報共有し、再発を失くすための対策を必須とし、ミーティングを行っております。今後も継続して参ります。